

平成18年度 リーグ戦個別戦績一覧

+++++ 【第六戦】 +++++

日時 平成18年7月16日 午前11時30分 キックオフ (快晴)
会場 清武町総合運動公園
相手 SANTANA
結果 8 - 1 (2 - 1、6 - 0)
内容

勝利の女神ならぬ「男」神あらわる!?

朝9時過ぎにはすでに30 を超える猛暑の中での試合となり、選手の体調管理が気になる試合でした。今回の相手は、昨年惜しい結果(1 - 2)を残し、鹿児島に帰られた大井さんのラストゲームでもありました。

リベンジを期して、今回は、初の試みとして最近、復調著しい戸田をポスト役としてワントップとし、攻撃的MFに左に黒田、中央に藤田、左に工藤を配し、スペースがあれば左右から飛び込むシステムを採用した。しかも、望むと相手は10名しかおらず、粘り強く試合が運べれば、3試合ぶりの勝利の予感がありました。

いきなりの予感の中。前半2分過ぎ、オフサイドぎりぎりから飛び出した黒田が左から持ち込み、最後はゴール前で戸田が押し込み、早々と先制点を奪取。しかし、相手も一人足りないとはいえ、まだまだ元気のある前半11分すぎ、右サイドからのFKが上手く追い風にも乗り直接ゴールに吸い込まれてしまい、あっという間の同点でした。

しかし、その後はフェニックスは怒濤の攻め!攻め!攻め!相手ゴール前でのFKを藤田が直接ねらうも惜しくもバーの上!戸田の振り向きざまのシュートに赤野のヘディングと相手を圧倒したものの追加点を奪えず、焦り始めた20分過ぎ、右からのセンタリングに反応した黒田がからみ、またしても中央から戸田が押し込み、ようやく勝ち越した。

10人の相手チームは後半に入ると猛暑のせい、動きが悪く、逆に余裕のあるフェニックスは、後半開始から攻めに攻め、開始1分、2分と三井の惜しいシュートが続くと、8分過ぎに右サイドから上手く切れ込んだ黒田が3点目をゲット。13分過ぎには左サイドのFKからボールがこぼれ右サイドにいた三井が軽々と4点目。15分には工藤が5点目を、17分には渡邊の粘りから黒田が6点目をゲット!24分過ぎにはまたしても渡邊が右サイドから切り込み、最後は黒田が自身3年ぶりとなるハットトリックで7点目をゲット。そして、最後はタイムアップ寸前の30分。中央から切り込んだ黒田が相手GKを交わしたループシュートを決め、黒田自身初となる1試合4点目(フェニックス8点目!)をゲット。

フェニックスでの1試合8得点は初めてです。これまでの最高は平成9年度と12年度に1試合5得点を記録しています。

応援者のお一人が「自分が見に来てフェニックスは負けたことがない」と宣っていました。真偽のほどは別にしてこの運が続くことを期待しましょう。

参加者

<先発>

- FW(戸田)
- MF(黒田、藤田、工藤)
- BO(赤野、三井)
- DF(中園、久保野、前口、野田)
- GK(谷之木)

<交代>

- 渡邊、稲用、久保、新立、黒木、松田

監督 高妻

応援 日浦、藤山